

基準 4 学生の受入

(1) 観点ごとの分析

観点 4-1-①： 教育の目的に沿って、求める学生像や入学者選抜（例えば、準学士課程入学者選抜、編入学生選抜、留学生選抜、専攻科入学者選抜等が考えられる。）の基本方針などが記載されたアドミッション・ポリシーが明確に定められ、学校の教職員に周知されているか。また、将来の学生を含め社会に公表されているか。

（観点に係る状況）

学生の受入機会は、準学士課程入学者選抜、編入学生選抜及び専攻科入学者選抜である。

平成 18 年度準学士課程入学者選抜に向けて、平成 17 年 6 月の教員会議において、アドミッション・ポリシーを改訂し（資料 4-1-①-1）、カレッジガイド（資料 4-1-①-2）、学校要覧、学生便覧、ウェブページに掲載し、本校構成員と中学校への周知を行っている。

アドミッション・ポリシーは、学校としてのものと、各学科のものがある。学校のアドミッション・ポリシーは教育方針（前出資料 1-1-①-1）、基本理念及び教育目標（前出資料 1-1-①-2、別添「学生便覧」冒頭）に対応し定められている。また、各学科のアドミッション・ポリシーは、各学科の目的（前出資料 1-1-①-3、別添「学生便覧」冒頭）に合わせて定められている。

（資料 4-1-①-1）

「アドミッションポリシーの改訂」

6 月定例教員会議議事要旨

日 時 平成 17 年 6 月 16 日（木）15 時～15 時 50 分
場 所 合併教室
出席者 校長、議長：森、構成員 58 名 計 61 名
列席者 事務部長、庶務課長、会計課長、学生課長、学生課専門員、庶務係長、
教務係長、庶務主任

議 事

I 報告事項

1. 校長報告

- 1) 独立行政法人国立高等専門学校機構校長・事務部長会議報告
校長から、資料 1 に基づき報告があった。

2. 教務主事報告

1) 入学試験委員会報告

① アドミッションポリシーについて

教務主事から、資料 2 に基づき、アドミッションポリシーの改訂について、報告があった。

② 学校説明会について

教務主事から、学校説明会を 6 月 23 日（木）13:30～、大講義室において実施する旨の案内があった。

ハ 推薦委員会報告

（出典 教員会議議事録）

(資料 4-1-①-2)

「準学士課程アドミッションポリシー (カレッジガイド)」

本校は、入学者として次のような人を広く求めます。

Fukui National College of Technology seeks the students with the following attributes.

■ 全学科としてのアドミッションポリシー

- (1) ものづくり、環境づくりに興味がある人
- (2) 基礎学力が備わっている人
- (3) 新しい目標にいつもチャレンジする人
- (4) 国際社会で活躍したいと思っている人
- (5) 自分で課題を考え、解決する能力を身に付けたい人

■ 各学科のアドミッションポリシー

■ 機械工学科

- (1) 自動車、飛行機、ロボットなどの機械システムに興味がある人
- (2) 自然現象の仕組みを応用したもののづくりに興味がある人
- (3) 文化や歴史を考えたもののづくりに興味がある人

■ 電気電子工学科

- (1) ロボット、システム、コンピュータなどを動かすための電子制御や、プログラミング技術を学びたい人
- (2) 情報家電や光通信などに使用する電子回路や、情報通信技術を学びたい人
- (3) 電気自動車や太陽光発電などに使われる、環境にやさしいクリーンエネルギーや、新素材技術を学びたい人

■ 電子情報工学科

- (1) コンピュータの仕組みやプログラミングに興味がある人
- (2) ネットワークを活用したり、知能ロボットを動かすプログラムを作りたい人
- (3) 未来のIT機器の開発をやってみたい人

■ 物質工学科

- (1) 化学と生物の世界へ第一歩を踏み出したい人
- (2) 地球に優しいものづくりをしたい人
- (3) バイオの技術で社会に貢献したい人

■ 環境都市工学科

- (1) 自然と共生し、持続可能で安全・快適な施設・都市・環境づくりに関心がある人
- (2) 道路や河川など社会資本の計画・設計・建設・維持管理システムに興味がある人
- (3) まちづくり、防災、環境の監視や保全の方法について実践的に学ぶことを望む人

(出典 カレッジガイド2006 2頁)

カレッジガイドと学校要覧は、各中学校へ郵送のほかに、本校で開催する学校説明会（資料 4-1-①-3）、入学試験委員会委員が行う中学校訪問（前出資料 1-2-②-4、資料 4-1-①-4）と入試説明会、及び、オープンカレッジ（資料 4-1-①-5）において、中学生、保護者、中学校教諭に対して配付すると同時に口頭での説明も行っている。

（資料 4-1-①-3）

「学校説明会日程と参加者数」

学校説明会日程

1. 期 日 平成17年6月23日（木）

2. 日 程	13:30～13:40	受 付	
	13:40～13:50	校 長 挨拶	大講義室
	13:50～14:30	授 業 見 学	各教室、実験室、実習工場
	14:30～15:30	学 校 説 明	大講義室
		各学科紹介	
		質 疑 応 答	
	15:30	閉 会	

平成17年度 学校説明会出席者名簿

番号	中学校名	出席者名		見学コース
		教 諭	生 徒	
1	明倫中学校			
2	進明中学校			
3	群和中学校			
38	松陵中学校			
39	栗野中学校			
40	美浜中学校		(保護者3名)	
41	社中学校			

※出席者 93名(教諭40名、生徒36名、保護者17名)

（出典 学生課）

(資料 4-1-①-4)

「中学校訪問」

中学校訪問(校長)日程

5月19日(木)	9:00	9:30-9:45	10:05-10:20	10:35-10:50	12:00
(校長)	学校 ⇒	丸岡中 ⇒	金津中 ⇒	春江中 ⇒	学校

高速道利用 鯖江！C⇒丸岡！C

5月23日(月)	9:00	9:20-9:35	10:00-10:15	10:20-10:45	11:00-11:15	11:30-11:45
	(校長)	学校 ⇨	足羽 ⇨	明倫中 ⇨	成和中 ⇨	大塚中 ⇨
					瀬明中 ⇨	昼食 ⇨
	12:10-12:15	13:00-14:05	14:15-14:30	15:00		
	明道中 ⇨	藤島中 ⇨	光陽中 ⇨	学校		

5月24日(水)	9:00	9:10-9:25	9:35-9:50	10:05-10:20	10:30-10:45	11:00-11:15	
(校長)	学校 →	鶴江中 →	中央中 →	家園中 →	南越中 →	万葉中 →	学校(鎌倉)
	12:20-12:35	13:45-14:00	14:10-14:25	14:40			
	武生第二中 →	武生第一中 →	武生第三中 →	学校			

隨行者：校長一、學生課長（運輸一學生課專門員）

中学校訪問(副校長)日程

中学校訪問(副校長)日程							
5月18日(木)	9:00	9:45-10:00	10:15-10:30	10:45-11:00	11:15-11:30	11:45-12:00	
(副校長)	学校 →	灯明寺中 ⇒	森田中 ⇒	坂井中 ⇒	芦原中 ⇒	三国中 ⇒	昼食 ⇒
	13:00-13:15	13:40-13:55	14:15-14:30	15:00-15:15	15:45-16:00	17:00	
	栗中 ⇒	国見中 ⇒	越后中 ⇒	越前中 ⇒	河野中 ⇒	学校	

5月20日(金)	9:00	9:20-9:35	10:00-10:10	10:25-10:40	10:55-11:10	11:30-11:45
(副校長)	学校 →	清水中 →	富崎中 →	蔵田中 →	永生中 →	朝日中 → 豊食(学校)
	12:00-12:45	14:20-14:35	15:00			
	武生第五中 →	武生第六中 →	学校			

5月27日(金)	8:00	10:00-10:15	10:40-10:55	11:10-11:25	11:35-11:50	
(副校長)	学校 ⇒	徳大附属中 ⇒	社中 ⇒	茎展中 ⇒	川西中 ⇒	昼食 ⇒
	12:15-12:30	14:00				
	星苗第一中 ⇒	学校				

6月1日(水)	9:00	10:00-10:15	10:40-10:55	11:10-11:25	11:35-11:50	
(副校長)	学校 →	関成中 →	上庄中 →	青徳中 →	福明中 →	昼食 →
	13:15-13:30	13:45-14:00	14:10-14:25	14:40-14:55	15:10-15:25	15:35-15:50
	神山南初中 →	神山北初中 →	神山北初中 →	上庄北中 →	永平南中 →	松岡中 →
						学校

6月15日(水)	8:45	9:40-10:55	10:10-10:45	11:00-11:10	11:40-12:00	
(副校長)	学校 ⇒	池田中 ⇒	南条中 ⇒	今庄中 ⇒	松隈中 ⇒	昼食 ⇒
	13:10-13:25	13:35-13:50	14:00-14:15	14:10		
	領比中 ⇒	角鹿中 ⇒	原野中 ⇒	学校		

高速道路利用	倉庫 $C \Rightarrow$ 搬入 C	搬入 $C \Rightarrow$ 取捨 C
--------	-------------------------------	-------------------------------

隨行者：副校長—學生課專門員（運動）

中学校訪問（滋賀県）行程表

地区	訪問日(曜日)	行 程 等	担当教員
湖西・ 大津方面	6月29日(水)	8:30 学 校 → 武生 I C → 木之本 I C → 西浅井町 [2-1] (西浅井町) → マキノ町 [2-1] (マキノ町) → 今津町 [1-0] (今津町) → 瀬西(新旭町) 11:40~11:55 → 笠置川(安曇川町) → (昼 食) → 志賀町 [2-1] (志賀町) → 伊香立中(大津市) → 真野 I C → 坂本北 I C → 日吉中 [1-0] (大津市) 15:10~15:25 → 皇子山 I C → 飯沢大付属中(大津市) → 北大路中(大津市) → 大津 I C → 武生 I C → 学 校 15:35~15:50 → 皇子山 I C → 飯沢大付属中(大津市) → 北大路中(大津市) → 大津 I C → 武生 I C → 学 校 18:00 → 皇子山 I C → 飯沢大付属中(大津市) → 北大路中(大津市) → 大津 I C → 武生 I C → 学 校 18:30 → 武生 I C → 学 校 11:10~11:25 14:35~14:50 13:30~13:45 10:40~14:20 14:40~14:55 15:10~15:25 15:40~15:55 16:10~16:25 18:30 → 武生 I C → 学 校 [10校]	小林教員
京津 大津方面	6月22日(水)	8:30 学 校 → 武生 I C → 菟王 I C → 甲西中 [1-0] (甲西町) → 甲西中(甲西町) → (昼 食) → 野田西中 [3-2] (甲西町) → 石部中(石部町) 14:05~14:20 → 草津市 [1-1] (草津市) → 高穂中(草津市) → 額田北(大津市) → 南山平(大津市) → 田上中(大津市) → 瀬田南 I C 18:30 → 武生 I C → 学 校 11:20~11:35 13:40~13:45 10:40~14:20 14:40~14:55 15:10~15:25 15:40~15:55 16:10~16:25 18:30 → 武生 I C → 学 校 [9校]	津田教員
彦根 方面	7月5日(火)	8:30 学 校 → 武生 I C → 彦根 I C → 彦根本中 [2-1] (彦根市) → 彦根東中 [1-1] (彦根市) → 彦根西中 [1-0] (彦根市) → 彦根中央中(彦根市) 13:00~13:15 → (昼 食) → 彦根南中 [3-2] (彦根市) → 彦根校中(彦根市) → 彦根川中 [1-0] (彦根市) → 安土市(安土町) → 彦根中(八日市市) 15:35~15:50 → 彦根南中 [1-1] (彦根市) → 八日市 I C → 武生 I C → 学 校 17:20 → 彦根南中 [1-1] (彦根市) → 八日市 I C → 武生 I C → 学 校 [10校]	山本教員
近江 守山方面	6月27日(月)	8:30 学 校 → 武生 I C → 八日市 I C → 八幡栗東中(近江八幡市) → 八幡中(近江八幡市) → 八幡西中(近江八幡市) → (昼 食) → 竜王市(竜王町) 13:30~13:45 → 野洲中(野洲町) → 野洲北中(野洲町) → 中主中(中主町) → 明富中 [1-1] (守山市) → 守山北中(守山市) → 守山中(守山市) 18:00 → 栗東 I C → 武生 I C → 学 校 10:30~10:45 10:55~11:10 11:25~11:40 13:00~13:15 13:30~13:45 13:55~14:10 14:20~14:35 14:45~15:00 15:10~15:25 15:35~15:50 18:00 → 栗東 I C → 武生 I C → 学 校 [10校]	野村教員
長浜・ 湖北方面	6月28日(火)	8:30 学 校 → 武生 I C → 木之本 I C → 龍岡南中 [1-1] (余呉町) → 木之本中 [2-2] (木之本町) → 高月市 [1-0] (高月町) → 湖北中(湖北町) 11:25~11:40 → 中子町(中子町) → (昼 食) → 虎郷中 [1-1] (虎郷町) → 旗井井中 [2-2] (浅井町) → 長浜北中(長浜市) → 長浜西中 [1-0] (長浜市) 14:45~15:00 → 長浜南中(長浜市) → 長浜東中 [1-0] (長浜市) → 伊吹山中 [1-0] (伊吹町) → 長浜 I C → 武生 I C → 学 校 17:25 → 長浜南中(長浜市) → 長浜東中 [1-0] (長浜市) → 伊吹山中 [1-0] (伊吹町) → 長浜 I C → 武生 I C → 学 校 [12校]	藤田教員
湖東 方面	6月21日(火)	8:30 学 校 → 武生 I C → 米原 I C → 河南中 [1-1] (米原町) → 米原南(米原町) → 多賀中(多賀町) → 甲良中(甲良町) → (昼 食) 13:00~13:15 → 藤生中(桑名町) → 愛知南 [1-1] (愛知川町) → 永源寺中(永源寺町) → 日野中(日野町) → 玉置町(八日市市) → 八日市 I C 17:30 → 武生 I C → 学 校 9:50~10:05 10:15~10:30 10:55~11:10 11:30~11:45 13:00~13:15 13:45~14:00 14:20~14:35 15:00~15:15 15:40~16:00 17:30 → 武生 I C → 学 校 [9校]	辻野教員

※ 【 】は当該中学校の平成16年度【出願者数－合格者数】、□は存在、在学生のいる中学校、■は過去3年間に出願者のあった中学校をそれぞれ示す。

(出典 学生課)

(資料 4-1-①-5)

「福井高専オープンカレッジ」



(出典 オープンカレッジパンフレット表紙)

平成17年度のカレッジガイドの配付数は平成16年度と同程度になる。平成16年度における各中学校への郵送分を含めた配付実績は（資料4-1-①-6）に示すとおりである。

(資料 4-1-①-6)

「カレッジガイド等配付数」

H16年度実績																	
資料1参考										資料2参考		通常的に文科省他に配付、受験希望等(主に本校生募集)に配付		中学校訪問等			
カレッジガイド作成版4000部 オープンカレッジ参加者配付		募集要項(本科目)作成数2200部		本科目募集ポスター(280部)		工学基礎コースリーフレット1000部		オープンカレッジポスター260枚		募集要項(編入生)作成部数500部		募集要項(専攻科)作成部数240部		学校紹介CD 200枚		電気工学科 学科要約リーフレット (1000部)	
配付先	部数	学校数	部数	学校数	部数	学校数	部数	学校数	部数	学校数	部数	学校数	部数	学校数	部数	学校数	
鹿城中学校	3		2		1		2		1		1		1		1		
橘立中学校	3		2		1		2		1		1		1		1		
片山康中学校	3		2		1		2		1		1		1		1		
東田中学校	3		2		1		2		1		1		1		1		
山代中学校	3		2		1		2		1		1		1		1		
山田中学校	3		2		1		2		1		1		1		1		
青城中学校	3		2		1		2		1		1		1		1		
マキノ中学校	6	7	2		1		2		1		1		1		1		
今津中学校	8	2			1		2		1		1		1		1		
朽木中学校	4		2		1		2		1		1		1		1		
安曇川中学校	9		2		1		2		1		1		1		1		
高島中学校	2				1		2		1		1		1		1		
瀬戸中学校	8		2		1		2		1		1		1		1		
滋賀大学附属中	6		2		1		2		1		1		1		1		
比叡山中学校	6		2		1		2		1		1		1		1		
近江兄弟社中学	6		2		1		2		1		1		1		1		
光景中学校	5		2		1		2		1		1		1		1		
京都洛南中学校		2			1		2		1		1		1		1		
計	1411	666	434		231		436		218		0		0		0		218

(出典 学生課)

本校教職員に対しては、教員会議、教務委員会、各学科教室会議などにおけるアドミッション・ポリシーについての検討や、カレッジガイド、学校要覧、学生便覧の配付とウェブページによって周知されている。

編入学生選抜では、準学士課程入学者選抜のアドミッション・ポリシーを適用し、編入学生募集要項（資料 4－1－①－7）及びウェブページに掲載している。募集要項の配付実績を（資料 4－1－①－8）に示す。また、募集要項は教員会議で検討された後、本校教員に配付されている。

（資料 4－1－①－7）

「編入学生選抜アドミッション・ポリシー」

2 入学者受入方針

本校は入学者として次のような人を広く求めます。

学校としてのアドミッションポリシー

- (1) ものづくり、環境づくりに興味がある人
- (2) 基礎学力が備わっている人
- (3) 新しい目標にいつもチャレンジする人
- (4) 国際社会で活躍したいと思っている人
- (5) 自分で課題を考え、解決する能力を身に付けたい人

各学科のアドミッションポリシー

機械工学科

- (1) 自動車、飛行機、ロボットなどの機械システムに興味のある人
- (2) 自然現象の仕組みを応用したもののづくりに興味がある人
- (3) 文化や歴史を考えたもののづくりに興味がある人

電気電子工学科（電気工学科）

- (1) ロボット、システム、コンピュータなどを動かすための電子制御やプログラミング技術を学びたい人
- (2) 情報家電や光通信などに使用する電子回路や情報通信技術を学びたい人
- (3) 電気自動車や太陽光発電などに使われる環境にやさしいクリーンエネルギーや新素材技術を学びたい人

電子情報工学科

- (1) コンピュータの仕組みやプログラミングに興味がある人
- (2) ネットワークを活用したり、知能ロボットを動かすプログラムを作りたい人
- (3) 未来の IT 機器の開発をやってみたい人

物質工学科

- (1) 化学と生物の世界へ第一歩を踏み出したい人
- (2) 地球に優しいものづくりをしたい人
- (3) バイオの技術で社会に貢献したい人

環境都市工学科

- (1) 自然と共生し、持続可能で安全・快適な施設・都市・環境づくりに関心がある人
- (2) 道路や河川など社会資本の計画・設計・建設・維持管理システムに興味がある人
- (3) まちづくり、防災、環境の監視や保全の方法について実践的に学ぶことを望む人

（出典 平成 18 年度編入学生募集要項 1 頁）

（資料 4－1－①－8）

「編入学生募集要項配付実績」

様式	送付先	発信者	送付部数	備考
別紙 1	各高等学校長 高等学校 県内工業系高等学校	校長	各 2 部 各 5 部	高校 39 校 (工業系 2 校)
別紙 2	文部科学省高等教育局 専門教育課長	"	1 部	滋賀 57 校 石川 64 校
別紙 3	各国立高等専門学校長	"	各 1 部	大阪 1 校
別紙 4	教育委員会 福井・滋賀・石川県	"	各 1 部	
別紙 5	国立高等専門学校機構本部 学務課長	学生課長	1 部	
別紙 6	報道機関各社 記者クラブ 福井新聞鯖江支社 丹南ケーブルテレビ	"	1 5 部 (13) (1) (1)	

（出典 学生課）

専攻科入学者選抜のアドミSSION・ポリシーは、学生便覧（資料4-1-①-9、別添「学生便覧」冒頭）に掲載されている。また、同じものが選抜方針という名称で専攻科学生募集要項（資料4-1-①-10）とウェブページに記載されている。専攻別の教育目標は専攻科ガイド（資料4-1-①-11）、及び学校要覧（資料4-1-①-12、別添「学校要覧」26頁）に掲載されている。専攻科ガイドと学校要覧は、本校の学生と保護者、企業に配付されている。また、学生便覧、専攻科ガイド、学校要覧、募集要項は本校教員にも配付され、学内関係者に対しても周知が図られている。

（資料4-1-①-10）

「専攻科選抜方針」

II 選抜方針

専攻科では、ものづくりの資質ならびに高等教育レベルの十分な素養をそなえている者、及び、社会人として活躍している技術者で高等専門学校卒業程度の学力を有する者の中から、公正かつ適正な方法で選抜する。

（出典 平成18年度専攻科学生募集要項1頁）

（資料4-1-①-11）

「専攻科専攻別学習内容と育成する人材（専攻科ガイド）」

生産システム工学専攻

21世紀に羽ばたく技術者には、技術の高度化と複雑化に対応できる総合化の能力と先端技術開発のための創造性が求められます。この中には、各種のシステム全体を統括するソフトウェアの設計・開発というような分野も含まれています。つまり、機械の分野、電子・電気の分野、あるいは情報の分野といったような縦割りの領域に留まって、技術の改善を目指しては、問題を解決することは困難になります。

本専攻は、本科5年の教育課程で修得した基礎学力を基盤として、機械設計、システム設計、システム制御、電子・物性及び情報・通信の分野の知識を広く教授します。その中では、具体的問題に取り組み、総合化の能力と創造性を育て、先進的な生産システムをはじめ、様々なシステムの開発研究を行うことができる、柔軟な思考力を兼ね備えた、実践的技術者の育成を目指します。



人間機械システム実験室

区分	授業科目	単位数
1 45		1

環境システム工学専攻

現在の社会は、環境を保全する意識が高まり、環境にやさしい製品や再資源化を前提とした製品の製造プロセスの開発等が求められています。こうした社会のニーズは今後もさらに高まっていくと考えられます。一方、地球環境や地域の環境を保全しつつ、自然災害に強い、より安全で快適な都市づくりの必要性も、非常に大きくなっています。

本専攻は、本科5年の教育課程で修得した基礎学力を基盤として、生物化学、構造や材料、環境分析、水環境学や環境土木及び都市や防災システム分野の知識を広く教授します。具体的には、機能性新素材や医薬品の開発研究、並びに都市環境を改善するための知識と技術を修得した技術者の育成を目指します。



（出典 専攻科ガイド3頁）

（分析結果とその根拠理由）

準学士課程は、本校全体と各学科それぞれの教育の目的に沿ったアドミッション・ポリシーが明確に定められ、カレッジガイド、学校要覧及びウェブページに掲載すると同時に、各種説明会において直接説明し広く周知されている。本校の構成員に対しては、カレッジガイド、学校要覧、学生便覧の配布及び教員会議等で周知されている。編入学のアドミッション・ポリシーは、準学士課程と同じものを適用し、募集要項の配付とウェブページに掲載していることで学内外共に周知されている。専攻科生選抜のアドミッション・ポリシー（選抜方針）は、学生便覧、募集要項及びウェブページに掲載されている。また、教育目標が専攻科ガイドと学校要覧に掲載されるなど、周知が図られている。

観点 4-2-①： アドミッション・ポリシーに沿って適切な学生の受入方法が採用されており、実際の入学者選抜が適切に実施されているか。

（観点に係る状況）

準学士課程入学者選抜は、推薦による選抜・学力検査による選抜があり（資料 4-2-①-1），入学者選抜実施要綱（資料 4-2-①-2）に基づいて実施している。

（資料 4-2-①-1）

「準学士課程入学者選抜方法」

平成 17 年度学生募集要項

I 募集人員、出願資格及び入学者の選抜

1 募集人員

各学科の募集人員は、次のとおりとします。

学 科	募 集 人 員	学力による募集人員	推薦による募集人員
機 械 工 学 科	40名	各学科とも、募集人員の 70%程度（内、8名程度 は工学基礎コース）	各学科とも、募集人員の 30%程度
電 気 工 学 科	40名		
電子情報工学科	40名		
物 質 工 学 科	40名		
環境都市工学科	40名		
計	200名		

※工学基礎コースは各学科 8 名を定員とし、2 年進級時に本人の志望と成績により転科可能となるコースである。

2 出 願 資 格

出願資格は、次のいずれかに該当する者とします。

- (1) 中学校もしくは、これに準ずる学校を卒業した者又は平成 17 年 3 月に卒業見込みの者
- (2) 中等教育学校の前期課程を修了した者又は平成 17 年 3 月に修了見込みの者
- (3) 中学校卒業と同等以上の学力があると認められた者（学校教育法施行規則第 63 条に該当する者）

3 入学者の選抜

入学者の選抜は、推薦によるものと、学力検査によるものと二つの方法で行います。

（出典 平成 17 年度学生募集要項 1 頁）

（資料 4-2-①-2）

「入学者選抜実施要綱」

平成 17 年度福井工業高等専門学校入学者選抜実施要綱

平成 17 年度福井工業高等専門学校入学者の選抜は、平成 17 年度学生募集要項に定めるもののほか、この要綱の定めるところにより実施する。

第 1 入学者の選抜方法

入学者の選抜は、次に掲げる 2 つの方法で行う。

- (1) 推薦による入学者の選抜（以下「推薦選抜」という。）
- (2) 学力検査による入学者の選抜（以下「学力検査選抜」という。）

第 2 推薦による入学者の選抜

（出典 入学者選抜実施要綱 1 頁）

推薦選抜には推薦要件アとイがある。アの要件では、推薦書、調査書、健康診断、作文及び面接の結果を総合して判定する。イの要件では、これに科学の分野における優秀な成果の口頭発表に対する評価が加わる（資料 4－2－①－3）。作文（資料 4－2－①－4）及び面接内容は学科毎に選抜方針に沿った課題を指定している。作文、面接の評定は選抜方針に沿って行い、各学科で評定結果について検討した後、入学試験委員会を経て教員会議において可否を判定する。

（資料 4－2－①－3）

「準学士課程入学者選抜方法」

Ⅱ 推薦による入学者の選抜

1 推薦要件

平成 17 年 3 月に中学校を卒業見込みの者又は中等教育学校の前期課程を修了見込みの者（以後「卒業（修了）」という。）で、次の要件を備え、学校長が推薦するものとします。

- (1) 本校への入学意志が強くあること。
- (2) 志望学科に対して、適性、興味及び関心があること。
- (3) 人物が優れ、調査書の各記録が優良であること。
- (4) 次のア又はイに該当すること。

ア 9 教科(英語以外の選択科目を除く。)の学習の記録の評定の合計が、次のいずれかの基準を満たしていること。ただし、卒業(修了)見込者の第 3 学年は 12 月末日現在とする。

- (ア) 第 1 学年から第 3 学年までが 5 段階評定の場合、105 以上
- (イ) 第 1 学年及び第 2 学年が 5 段階評定、第 3 学年が 10 段階評定の場合、140 以上

イ 科学の分野に強い関心を有し、次のいずれかに該当すること。

- (ア) 国、地方公共団体又は民間の団体が主催する科学の分野に関するコンテスト等において優れた成果を収めた者
- (イ) 校内の活動において、科学の分野に関し特に優秀な成果を収めたと認められる者

3 選 抜 方 法

- (1) 推薦要件の(4)のアによる選抜は、推薦書、調査書、健康診断、作文及び面接の結果を総合して判定します。
- (2) 推薦要件の(4)のイによる選抜は、推薦書、調査書、健康診断、作文、面接及び口頭発表の結果を総合して判定します。

注：「口頭発表」では、科学の分野に関して収めた成果についての発表と質疑を行う。（発表は 10 分以内。）発表機材として本校において、OHP を準備します。

- (3) 選抜の期日及び場所

期 日	平成 17 年 1 月 25 日(火)
場 所	福井工業高等専門学校 鯖江市下司町（「Ⅶ学力検査場案内図」参照）

- (4) 作文・面接及び口頭発表

ア 実施時間

作 文	面 接（口頭発表）
9：00～9：50	10：00～

イ 作文は課題により、面接は個人面接により実施します。

- (5) 健康診断

調査書の「健康の状況」欄の健康状況について審査し、特に必要と認める者については、精密検査を行います。精密検査の必要な者には、面接終了時に通知します。

なお、精密検査の結果、修学に耐えられないと認められた者は、入学を許可しないことがあります。

（出典 平成 17 年度学生募集要項 2 頁）

(資料 4－2－①－4)
「推薦選抜作文課題」

様式第5号
平成十五年 福井工業高等専門学校推薦入学者選抜作文課題

志望学科	課 題 名
機械学科	私がつくりたい夢のロボット
電気学科	エレクトロニクス技術と私の夢
電子情報工学科	私の夢と希望、そしてそれを実現するために まず私のすべきこと
物質学科	二十一世紀における化学の役割
環境都市工学科	都市基盤の整備において 土木技術者が果たす役割について

(注意) 志望学科の課題を文用紙の課題欄に記入すること。

様式第5号
平成十六年度 福井工業高等専門学校推薦入学者選抜作文課題

志望学科	課 題 名
機械学科	「福井高専機械工学科で何を学びたいか」
電気学科	中学時代に習った力を入れて取り組みたいこと (勉強、クラブ活動、趣味などから)
電子情報工学科	「マナについてどう考えますか」
物質学科	二十一世紀における化学の役割と可能性
環境都市工学科	高専に入ったらしい事

(注意) 志望学科の課題を文用紙の課題欄に記入すること。

様式第5号
平成十七年度 福井工業高等専門学校推薦入学者選抜作文課題

志望学科	課 題 名
機械工学科	ボランティアについて
電気工学科	電気工学科で 取り組みたいこと
電子情報工学科	インターネット社会の将来 あるべき姿
物質工学科	福井高専物質工学科に 入学して学びたいこと
環境都市工学科	まちづくりにおける防災と共生

(注意) 志望学科の課題を文用紙の課題欄に記入すること。

(出典 学生課)

学力検査による選抜では、学力検査、調査書、健康診断の結果を総合して判定する（資料 4－2－①－5）。学力検査では、国立高等専門学校入学選抜学力検査問題（資料 4－2－①－6）を使用している。アドミッション・ポリシーにおける、基礎学力が備わっている人、国際社会で活躍したいと思っている人、自分で課題を考え、解決する能力を身に付けたい人、という項目に対応して、5科目において偏りなくバランスの良い成績の学生を受け入れている。

（資料 4－2－①－5）

「学力検査選抜方法」

2 選 抜 方 法

(1) 学力検査による選抜は、学力検査、調査書及び健康診断の結果を総合して判定します。

(2) 学力検査の期日及び場所

期 日	平成17年2月20日(日)	
場 所	本 校 検 査 場	福井工業高等専門学校（鯖江市下司町）
	滋賀県検査場	滋賀大学経済学部（彦根市馬場1丁目1-1）

(3) 学力検査の検査科目及び検査時間

理 科	英 語	数 学	国 語	社 会
9:30～10:20	10:40～11:30	11:50～12:40	13:30～14:20	14:40～15:30

(4) 健康診断

調査書の「健康の状況」欄の健康状況又は健康診断書について審査し、特に必要と認める者については、精密検査を行います。精密検査の必要な者には、学力検査終了後通知します。

なお、精密検査の結果、修学に耐えられないと認められた者は、入学を許可しないことがあります。

（出典 平成17年度学生募集要項7頁）

（資料 4－2－①－6）

「入学選抜学力検査問題」

Institute of National Colleges of Technology, Japan
独立行政法人 国立高等専門学校機構

HOME | 受験要項 | 平成17年度入学試験問題

国立高等専門学校入学選抜学力検査問題

平成17年度 (平成17年2月実施)	
国 語	問題 解答
社 会	問題 解答
数 学	問題 解答
理 科	問題 解答
英 語	問題 解答

※ 問題にはAdobe Readerをインストールする必要があります。
Adobe Readerのダウンロードはこちらから。

独立行政法人 国立高等専門学校機構 2004 All Rights Reserved

（出典 ウェブページ）

編入学生選抜は、学科毎の学力検査（作文含む）・調査書・推薦書・面接及び健康診断書の内容の総合判定で（資料4－2－①－7），編入学生選抜実施要綱に従って行われる（資料4－2－①－8）。面接の内容及び評定はアドミッション・ポリシーに沿って行い、各学科で評定結果について検討した後、入学試験委員会を経て教員会議において可否を判定する。

(資料4－2－①－7)
「編入学生出願資格、選抜方法等」

3 出願資格

高等学校を卒業した者又は平成17年3月卒業見込みの者で、高等学校長が推薦する者として、ただし、出願できる学科と高等学校における所属科との関係は、次のとおりです。

学 科	高 等 学 校 に お け る 所 属 科
機 械 工 学 科	機械工学に関する科
電 気 工 学 科	所属科を問わない。
電子情報工学科	所属科を問わない。
物 質 工 学 科	所属科を問わない。
環境都市工学科	「測量学」を必修科目として持つ科

5 選抜方法等

(1) 選 抜 方 法

編入学生の選抜は、学力検査（作文を含む）、調査書、健康診断及び面接の結果を総合して判定します。

(2) 学力検査等の期日及び場所

期 日	平成16年8月24日（火）
場 所	福井工業高等専門学校 鯖江市下町町 (入学案内の12「学校案内図及び利用交通」参照)

(3) 学力検査等の時間

専 門 科 目	数 学	英 語	作 文	面 接
9:00～10:40	10:50～12:10	13:00～13:50	14:00～14:40	15:10～

(4) 健 康 診 断

調査書の「健康の状況」欄の健康状況又は健康診断書について審査し、特に必要と認める者には、精密検査を行います。精密検査の必要な者には、別途通知します。
なお、精密検査の結果、修学に耐えられないと認められた者は、入学を許可しないことがあります。

7 学力検査科目の出題科目等

学力検査科目等	出題科目	出 題 範 囲
数 学	数 学 I 数 学 A 数 学 II	電子計算機を除く範囲
英 語	英 語 I	全範囲
作 文		課題を与える。
専 門 科 目	機 械 工 学 科	機 械 設 計 機 械 工 作 機 械 製 図 機械にはたらく力と運動、機械の仕事と動力、材料の強さ、ねじ、軸とその部品、歯車、機械材料、鋳造、塑性加工、溶接、切削加工、研削加工、製図の基礎、製作図
	電 気 工 学 科	電 気 基 礎 電 子 基 礎 物 理 直流回路、電気と磁気、静電気、電磁誘導、交流回路（三相交流を除く）、電子回路、電気・電子に関すること。
		出題範囲の中から選択解答する。
	電 子 情 報 工 学 科	情報技術基礎 物 理 ハードウェア、ソフトウェア、プログラミング、電気・電子の基礎
		出題範囲の中から選択解答する。
	物 質 工 学 科	工 業 化 学 化 学 I B 全範囲
目		出題範囲の中から選択解答する。
	環 境 都 市 工 学 科	測 量 土木設計 I 水 理 土 質 距離測量、トランシット測量、トラバース測量、平板測量、水準測量、測量の誤差、面積及び土積の計算、路線測量、力のつりあい、断面の性質、静定ばり（たわみを除く）、静水圧、流れの基礎方程式、管路の流れ、開水路の流れ、土の基本的な性質、土中の水の流れと毛管現象、地中の応力、土の圧密、土の締固め

(備考) 検査科目で、電卓が必要な場合は貸与します。

(出典 平成18年度編入学生募集要項 1 頁)

(資料4－2－①－8)
「編入学生選抜実施要綱」

必

平成18年度福井工業高等専門学校編入学生選抜実施要綱

平成18年度福井工業高等専門学校編入学生の選抜は、平成18年度編入学生募集要項に定めるもののほか、この要綱の定めるところにより実施する。

第1 編入学生の選抜

編入学生の選抜は、学力検査（作文を含む。以下同じ。）、調査書、健康診断及び面接の結果を総合して判定する。

第2 編入学生選抜の実施要綱

(出典 編入学生選抜実施要綱 1 頁)

専攻科入学者選抜は、推薦による選抜・学力による選抜・社会人特別選抜の三種がある（資料４－２－①－９）。推薦による選抜は年一回行われ、推薦書・調査書・面接（専門科目に関する口頭試問を含む）及び健康診断書の内容の総合判定により行う（資料４－２－①－１０）。学力による選抜は年に二回（前・後期）行われる。国際的コミュニケーション能力と工学的素養を確認するための英語と数学の筆記試験と面接（専門科目に関する内容の口頭試問を含む）及び調査書ならびに健康診断書の内容の総合判定により行う（資料４－２－①－１１）。社会人選抜は年一回行われる。社会人技術者の再教育を目的とし、所属長の推薦書、出身学校長の調査書及び面接の内容の総合判定により行う（資料４－２－①－１２）。総合判定は福井工業高等専門学校専攻科入学者選抜実施要領（資料４－２－①－１３）に従って行われる。面接の内容及び評定は選抜方針に沿って行い、各専攻で評定結果について検討した後、専攻科委員会を経て教員会議において可否を判定する。

（資料４－２－①－９）

「専攻科生選抜方法」

Ⅲ 選抜方法

入学者の選抜は、推薦による選抜、学力検査による選抜（前期・後期）及び社会人特別選抜とし、次のとおり行います。

選 抜 区 分		試 験 期 日	選 抜 人 数
推 薦 に よ る 選 抜		平成１７年 ６月 ５日(日)	各専攻とも定員の半数程度
学力検査による選抜	前 期	平成１７年 ７月１６日(土)	各専攻とも定員の半数程度
	後 期	平成１７年１２月１０日(土)	
社 会 人 特 別 選 抜		平成１７年１２月１０日(土)	若干名

（出典 平成１８年度専攻科学生募集要項１頁）

（資料４－２－①－１０）

「出願資格と選抜方法（推薦選抜）」

Ⅳ 推薦による選抜

１．出願資格

次の各号に該当する者とします。

- (1) 平成１８年３月に高等専門学校卒業見込みの者で、出身学校長が人物、健康ともに優れていると認め推薦する者
- (2) 学年末の学業成績が在籍したクラスの上位１／２以内である者(第３学年と第４学年の平均順位または第４学年の順位が、上位１／２以内である者)

３．選抜の方法

入学者の選抜は、在籍学校長から提出された推薦書及び調査書、面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）並びに健康診断書の内容の総合判定により行います。

- (1) 検査期日 平成１７年６月５日（日）
当日は、午前９時１５分までに集合してください。
- (2) 検査内容 面接
- (3) 検査会場 福井工業高等専門学校

（出典 平成１８年度専攻科学生募集要項１頁）

(資料 4 - 2 - ① - 1 1)

「出願資格と選抜方法（学力選抜）」

V 学力検査による選抜【前期】

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は平成 18 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は平成 18 年 3 月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者又は平成 18 年 3 月修了見込みの者のうち学校教育法第 82 条の 10 の規定により大学に編入することができる者
- (4) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者又は平成 18 年 3 月修了見込みの者

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査（数学、英語）、面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）及び調査書並びに健康診断書の内容の総合判定により行います。

(1) 検査期日等

期 日	科目等	時 間
平成 17 年 7 月 16 日 (土)	数 学	9 : 45 ~ 10 : 45
	英 語	11 : 00 ~ 12 : 00
	面 接	13 : 00 ~

当日は、午前 9 時 15 分までに、集合してください。

(2) 学力検査科目及び出題範囲

科 目	出 題 範 囲
数 学	線形代数、微分積分（1 変数及び 2 変数、微分方程式を含む。）
英 語	一般英語

(3) 検査会場 福井工業高等専門学校

VI 学力検査による選抜【後期】

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当する者としてします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者又は平成 18 年 3 月卒業見込みの者
- (2) 短期大学を卒業した者又は平成 18 年 3 月卒業見込みの者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者又は平成 18 年 3 月修了見込みの者のうち学校教育法第 82 条の 10 の規定により大学に編入することができる者
- (4) 外国において、学校教育における 14 年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における 14 年の課程を修了した者又は平成 18 年 3 月修了見込みの者

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、学力検査（数学、英語）、面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）及び調査書並びに健康診断書の内容の総合判定により行います。

(1) 検査期日等

期 日	科目等	時 間
平成 17 年 12 月 10 日 (土)	数 学	9 : 45 ~ 10 : 45
	英 語	11 : 00 ~ 12 : 00
	面 接	13 : 00 ~

当日は、午前 9 時 15 分までに、集合してください。

(2) 学力検査科目及び出題範囲

科 目	出 題 範 囲
数 学	線形代数、微分積分（1 変数及び 2 変数、微分方程式を含む。）
英 語	一般英語

(3) 検査会場 福井工業高等専門学校

(出典 平成 18 年度専攻科学生募集要項 4 頁)

(資料 4－2－①－1 2)

「出願資格と選抜方法（社会人特別選抜）」

Ⅶ 社会人特別選抜

1. 出願資格

次の各号のいずれかに該当し、所属する企業等の長が勤務成績、人物及び健康とも優れていると認め推薦する者とします。

- (1) 高等専門学校を卒業した者
- (2) 短期大学を卒業した者
- (3) 専修学校の専門課程を修了した者のうち学校教育法第82条の10の規定により大学に編入することができる者
- (4) 外国において、学校教育における14年の課程を修了した者
- (5) 外国の学校が行う通信教育における授業科目を我が国において履修することにより当該外国の学校教育における14年の課程を修了した者又は平成18年3月修了見込みの者

3. 選抜の方法

入学者の選抜は、提出された推薦書及び調査書、面接（専門科目に関する口頭試問を含む。）並びに健康診断書の内容の総合判定により行います。

- (1) 検査期日 平成17年12月10日（土）
当日は、午前9時15分までに、集合してください。
- (2) 検査内容 面接

（出典 平成18年度専攻科学生募集要項8頁）

(資料 4－2－①－1 3)

「専攻科生選抜実施要領」

福井工業高等専門学校専攻科入学者選抜実施要領

制定 平成10年4月 1日

改正 平成17年5月12日

（趣旨）

第1 「この要領は、福井工業高等専門学校専攻科の入学者選抜（以下「試験」という。）の実施に関し必要な事項を定めるものとする。

（出典 専攻科入学者選抜実施要領1頁）

(分析結果とその根拠理由)

準学士課程入学者選抜は、推薦と学力検査による選抜が実施されている。推薦選抜は、学科毎にアドミッション・ポリシーに沿った内容の作文と面接が実施されている。また、科学の分野における優秀な成果の口頭発表を評価に加える出願要件を設けており、多様な方法で選抜が実施されている。学力検査はアドミッション・ポリシーに沿って5科目で偏りのない成績の学生を受け入れている。編入学生選抜では、学科毎にアドミッション・ポリシーに沿った内容の学力検査と面接が実施されている。専攻科生入学者選抜は、推薦と学力検査及び社会人選抜とがあり、それぞれアドミッション・ポリシーに沿った内容の面接、学力検査が実施されている。

観点 4-2-②： アドミッション・ポリシーに沿った学生の受入が実際に行われているかどうかを検証しており、その結果を入学者選抜の改善に役立てているか。

（観点に係る状況）

学生募集，入学者選抜の実施，入学者選抜の合格候補の選考に関する事項を審議する入学試験委員会が置かれ，教務主事，教務主事補，学科（教室）主任，事務部長によって組織されている（資料 4-2-②-1）。

（資料 4-2-②-1）

「入学試験委員会規則」

D （福井高専） 二二二	第1編 規程・内規（福井工業高等専門学校入学試験委員会規則）	
	○福井工業高等専門学校入学試験委員会規則	
	(昭和41年2月1日) 規 程 第 12 号	
	改正 昭和44年 3月14日規程第 3号	昭和47年 4月26日規程第 2号
	昭和52年11月 1日規程第 6号	昭和54年 3月24日規程第 5号
	平成 3年 2月21日規程第 1号	平成 7年 3月30日規程第 1号
	（設置）	
	第1条 本校に、入学試験委員会（以下「委員会」という。）を置く。	
	（審議事項）	
	第2条 委員会は、校長の命を受けて次の事項を審議する。	

- (1) 学生募集に関する事項
- (2) 入学者選抜の実施に関する事項
- (3) 入学者選抜の合格候補者の選考に関する事項

（組織）

第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。

- (1) 教務主事
- (2) 教務主事補
- (3) 学科（教室）主任
- (4) 事務部長

2 委員会に委員長を置き、教務主事をもって充てる。

3 委員長は、委員会に委員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。

（庶務）

第4条 委員会の庶務は、学生課教務係が処理する。

附 則

この規程は、昭和41年2月1日から施行する。

附 則（昭和44年3月14日改正）

この規程は、福井工業高等専門学校事務組織規程の一部を改正する規程（昭和43年規程第1号）の施行の日（昭和43年4月1日）から施行する。

121

第1編 規程・内規（福井工業高等専門学校入学試験委員会規則）

附 則（昭和47年4月26日改正）

この規程は、福井工業高等専門学校事務組織規程の一部を改正する規程（昭和47年規程第1号）の施行の日（昭和47年4月1日）から施行する。

附 則（昭和52年11月1日改正）

この規程は、昭和52年11月1日から施行する。

附 則（昭和54年3月24日改正）

この規程は、昭和54年4月1日から施行する。

附 則（平成3年2月21日改正）

この規程は、平成3年4月1日から施行する。

附 則（平成7年3月30日改正）

この規則は、平成7年4月1日から施行する。

（出典 福井工業高等専門学校規則集 1 2 2 頁）

また、教務委員会（資料 4-2-②-2）において、入学後の学生に対して一斉テストを実施して基礎学力の検証を行い（資料 4-2-②-3）、入試委員会と連携して入学者選抜の改善を検討している（資料 4-2-②-4）。

準学士課程入学者選抜における推薦選抜、及び編入学生選抜では、選抜方針に沿った作文課題を各学科から出題している。面接内容は、各学科で選抜方針に沿った内容になるよう面接担当者が事前に協議した上で、面接に当たっている。

（資料 4-2-②-2）

「教務委員会規則」

第1編 規程・内規（福井工業高等専門学校教務委員会規則）	
○福井工業高等専門学校教務委員会規則 （昭和41年4月1日） 規 程 第 9 号 改正 昭和43年 4月 1日 規程第 6号 昭和47年 4月26日 規程第 2号 平成 3年 2月21日 規程第 1号 昭和44年 3月14日 規程第 3号 昭和54年 3月24日 規程第 4号 平成 7年 3月30日 規程第 1号 （設置） 第1条 本校に教務委員会（以下「委員会」という。）を置く。 （審議事項） 第2条 委員会は、校長の命を受けて次の事項を審議する。 (1) 教育課程及び授業時間割の編成等授業実施に関する事項 (2) 特別活動、学校行事等に関する事項 (3) 退学、休学、進級及び卒業の認定等に関する事項 (4) その他教務に関する重要な事項 （組織） 第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。 (1) 教務主事 (2) 教務主事補 (3) 学科（教室）主任 (4) 学生課長 2 委員会に委員長を置き、教務主事をもって充てる。 3 委員長は、委員会に委員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。 （庶務） 第4条 委員会の庶務は、学生課教務係が処理する。 附 則 この規程は、昭和41年4月1日から施行する。 附 則（昭和42年4月1日改正） この規程は、昭和42年4月1日から施行する。 附 則（昭和44年3月14日改正）	
III . r	
第1編 規程・内規（福井工業高等専門学校教務委員会規則）	
この規程は、福井工業高等専門学校事務組織規程の一部を改正する規程（昭和43年規程第1号）の施行の日（昭和43年4月1日）から施行する。 附 則（昭和47年4月26日改正） この規程は、福井工業高等専門学校事務組織規程の一部を改正する規程（昭和47年規程第1号）の施行の日（昭和47年4月1日）から施行する。 附 則（昭和54年3月24日改正） この規程は、昭和54年4月1日から施行する。 附 則（平成3年2月21日改正） この規程は、平成3年4月1日から施行する。 附 則（平成7年3月30日改正） この規程は、平成7年4月1日から施行する。	

（出典 福井工業高等専門学校規則集 1 1 1 ・ 7 頁）

(資料 4-2-②-3)

「1 年生一斉テストの実施」

議 事 録

会議の名称	教務委員会	平成 16 年度 (第 1 回)
日 時	平成 16 年 4 月 15 日 (木) 16 時 30 分～17 時 15 分	
出席者	会議構成員 15 名 (定員 15 名) その他の職員 3 名 計 18 名	
会 場	会議室	

委員及び、員が出席し、報告及び報告があった。

(2) 1 年生一斉テストの実施について

委員長から、英語・数学・国語の 3 教科について、入学試験「調査書評定」の信憑性を確認すること等を目的に一斉テストを実施する旨の報告及び協力依頼があった。

(出典 教務委員会議事録)

(資料 4-2-②-4)

「1 年生一斉テスト結果の検討」

議 事 録

会議の名称	入学試験委員会	平成 16 年度 (第 3 回)
日 時	平成 16 年 6 月 9 日 (水) 15 時 00 分～16 時 30 分	
出席者	会議構成員 15 名 (定員 15 名) その他の職員 4 名 計 19 名	
会 場	主事室	

委員及び、員が出席し、報告及び報告があった。

3. その他

・委員長から、先日実施された 1 年生対象の業者テストの結果が委員に回覧され、今後入学時の調査書と照らし合わせ集計を出し今後の参考としていきたい旨案内があった。

(出典 入学試験委員会議事録)

専攻科生選抜においては、専攻科委員会が入学選抜等に関する事について検討している (資料 4-2-②-5)。専攻科委員会では、受験希望者に対して適切な情報を開示するため、選抜方法を明記した平成 18 年度募集要項についての検討を行い、改訂している (資料 4-2-②-6)。

(資料 4-2-②-5)

「専攻科委員会規則」

第1編 規程・内規（福井工業高等専門学校専攻科委員会規則）	第1編 規程・内規（福井工業高等専門学校専攻科委員会規則）
○福井工業高等専門学校専攻科委員会規則 (平成10年1月22日) 規則 第1号 改正 平成14年12月19日規則第3号 (設置) 第1条 福井工業高等専門学校学則第39条の規定に基づき、福井工業高等専門学校専攻科委員会（以下「委員会」という。）を置く。 (審議事項) 第2条 委員会は、校長の命を受けて次の事項を審議する。 (1) 入学選抜等に関する事。 (2) 教育課程の編成及び教育計画の立案に関する事。 (3) 学生の進学及び就職に関する事。 (4) 学生の厚生補導に関する事。 (5) その他専攻科の運営に関する事。 (組織) 第3条 委員会は、次の各号に掲げる委員をもって組織する。 (1) 専攻科長 (2) 専攻主任 (3) 学科（教室）の教官 5名 (4) 学生課長 2 前項第3号の委員は、校長が命ずる。 3 第1項第3号の委員の任期は、1年とし、再任を妨げない。ただし、補欠による委員の任期は、前任者の残任期間とする。 (委員) 第4条 委員会に委員長を置き、専攻科長をもって充てる。 2 委員長は、委員会を招集し、その議長となる。 (委員以外の者の出席) 第5条 委員長は、委員会に委員以外の者の出席を求めて、その意見を聴くことができる。	(職務) 第6条 委員会の庶務は、学生課が処理する。 附 則 1 この規則は、平成10年4月1日から施行する。 2 福井工業高等専門学校専攻科設置準備委員会要項（平成9年9月24日制定）は、廃止する。 附 則（平成14年12月19日改正） この規則は、平成15年4月1日から施行する。

III・5

(出典 福井工業高等専門学校規則集)

(資料 4-2-②-6)

「募集要項の改訂」

第10回専攻科委員会議事録

日 時：平成16年11月29日（月） 16:30～18:25

場 所：小会議室

出席者：吉村（忠）委員長、藤田、米田、下条、小泉、奥村、岡本、戸島各委員
(欠席：長谷川委員)

議 題

1. 平成18年度専攻科募集要項（案）について
委員長から、資料No.1により説明があり、了承された。

(出典 専攻科委員会議事録)

(分析結果とその根拠理由)

準学士課程及び編入学生選抜では、学生募集と入学選抜については入学試験委員会が、入学後の学生については教務委員会が検討している。両委員会が連携して、入学選抜の改善を検討している。また、専攻科生選抜では、専攻科委員会が選抜方法の改善を検討している。

観点 4-3-①： 実入学者数が、入学定員を大幅に超える、又は大幅に下回る状況になっていないか。また、その場合には、これを改善するための取組が行われるなど、入学定員と実入学者数との関係の適正化が図られているか。

（観点に係る状況）

準学士課程入学者選抜における定員は、各学科 40 名である。推薦選抜ではその 30% 程度とし、学力選抜を含めて定員を満たすよう合格判定を行っている。ただし、学力選抜のうち各学科 8 名以内を工学基礎コースとしている（前出資料 4-2-①-1）。本校の合格辞退者は極めて少ないため、定員の 40 名を合格とし、辞退者がある場合には追加合格により定員を満たすようにしている。準学士課程における現員と実入学者数は（資料 4-3-①-1，別添「学校要覧」37 頁）である。

入学試験委員会では、中学生の減少を受け、定員の確保のための受験者数増加の方策を検討している。平成 16 年度推薦選抜において、各中学校から各学科へ 1 名のみという枠を撤廃し、推薦選抜の受験がしやすくなるよう配慮した。また、学力選抜においては、2 年進級時に転科が可能な工学基礎コースを設置し、中学時点での学科選択という高専希望者にとっての敷居を低くし、受験者増への取組みを行った（資料 4-3-①-2）。

（資料 4-3-①-2）

「工学基礎コース」

「工学基礎コース」ができました！

高専へ行きたいけど、学科がまだ決められない...

そんな人のために、入学 1 年後に本人の希望と成績により、各専門学科に転科できる「工学基礎コース」が平成 17 年度（来春）入試より設置されます。専攻科（大学 3.4 年課程）、国立大学 3 年編入が 5 割となっているので、基礎科目に重点をおいた教育を行います。

1 年間、各学科の中に、8 名を設定します

入学定員は従来どおり、機械、電気、電子情報、物質、環境都市各学科とも 40 名（全 200 名）ですが、各学科の定員 40 名の中で、8 名を「工学基礎コース」とし、1 クラスを編成します。

コースの特徴 来年度より、新 1 年生は、「ものづくり科学」という授業で専門分野にとらわれない体験型学習科目に取り組みます。自主研究として、各自がこれら研究テーマの幾つかに取り組みます。「工学基礎コース」は各学科の専門にとらわれないテーマを選択し、1 年間かけて、ゆっくりと専門分野を選択することができます。また、最近、国立大学 3 年や、専攻科に進学する人が増えていきますので、基礎的な教育にも重点を置きます。

Q. 推薦入学制度はなくなるのですか？
A. 推薦制度はそのままです
 推薦入試はこれまでと同じで、各学科募集人員の約 30% 程度が募集人員です。志望学科がはっきりしている人に向いています。推薦制度の推薦要件を満たしている人はぜひどうぞ。

Q. 学力試験の可否はどのように決めるのですか？
A. 「工学基礎コース」をまず決めます
 まず、「工学基礎コース」について、第 1 志望から第 3 志望を考慮して決めます。その後、残念ながら不合格となった人と他の学力試験受験者で、各学科の他の合格者を決めていきます。

Q. 「工学基礎コース」に入った後、成績によっては他の学科に変わる場合もあるのですか？
A. 転科を希望しなければそのままです
 「工学基礎コース」に入塾した 1 年後の成績に関係なく、転科を希望しなければそのままの学科での学習が可能です。

Q. 志望学科は決まっているけど、「工学基礎コース」は良さそうだから受験してはいいですか？
A. 「工学基礎コース」へぜひどうぞ
 「工学基礎コース」では体験型学習など新しい教育を行います。受験で不利なことはありませんから、ぜひチャレンジしてください。

福井高専 <http://www.fukui-nct.ac.jp>
 学生課 教務係 (0778) 62-1118

（出典 学生課）

編入学生選抜における定員は、各学科若干名である（資料 4－3－①－3）。受入予定のクラスの人数が教育に支障をきたさないよう合格者数を検討し、合否判定を行っている。4，5 学年の現員は（前出資料 4－3－①－1，別添「学校要覧」37 頁）に，編入学選抜における実入学者数は（資料 4－3－①－4）に示す。

（資料 4－3－①－3）

「編入学選抜定員」

1 募集学科、募集人員及び編入学年

募 集 学 科	募 集 人 員	編 入 学 年
機 械 工 学 科 電 気 工 学 科 電子情報工学科 物 質 工 学 科 環境都市工学科	各学科とも 若 干 名	第 4 学 年

（出典 平成 17 年度編入学生募集要項 1 頁）

（資料 4－3－①－4）

「編入学選抜実入学者数」

表 編入学入学者数

入学年度	入学者数				
	機械	電気	電子情報	物質	環境都市
平成15年度	1	2	0	1	3
平成16年度	0	1	0	1	3
平成17年度	1	2	0	0	2

（出典 学生課）

専攻科生選抜における定員は、（資料 4－3－①－5）に示す。専攻科生選抜における実入学者数は（前出資料 4－3－①－1，別添「学校要覧」37 頁）である。定員 20 名に対して 30 名程度入学している。専攻科では、定員 25 名の講義室 1，定員 40 名の講義室 2，定員 16 名のゼミ室 3，及び、10 名程度収容できるゼミ室 1 とゼミ室 2 を利用して講義を行っている。学年別や専攻別の講義は講義室を使い，少人数で行う演習などではゼミ室を利用している。工学実験では専攻科生を少人数のグループに分けて，複数の教員がそれぞれの実験室等を利用して実施している。また，特別研究では，指導教員 1 名に対して，専攻科生 1，2 名程度であり，それぞれの設備において定員を超過している影響は無いものと考えられる。

（資料 4－3－①－5）

「専攻科生選抜定員」

I 募集人員

生産システム工学専攻 12 名
環境システム工学専攻 8 名

（出典 平成 18 年度専攻科学生募集要項 1 頁）

（分析結果とその根拠理由）

準学士課程の実入学者数は定員どおりで適正になっている。また，受検者数増に向けた取組みがなされている。編入学生選抜では，入学後のクラスの人数が教育に支障のない事を検討しながら合否判定を行っており適正である。専攻科生選抜では，実入学者数は定員を超過しているが，教育に支障のない講義室，実験室等の設備が備わっており，適正であると考えられる。

（２）優れた点及び改善を要する点

（優れた点）

準学士課程において、学校説明会、オープンカレッジ、中学校訪問及び入試説明会などを積極的に実施し、学生の受け入れ方針の周知をはかり、本校の教育目的に共感する優秀な学生の確保に努めている。

準学士課程における推薦選抜で、科学の分野における優秀な成果の口頭発表を評価に加える出願要件を設けており、多様な学生を受け入れている。

（改善を要する点）

特になし。

（３）基準 4 の自己評価の概要

学生の受入について、準学士課程、編入学ともに平成 18 年度入学者選抜に対してアドミッション・ポリシーを改訂し、学校全体のものと各学科のものを定めた。アドミッション・ポリシーは、カレッジガイド、学校要覧、学生便覧及びウェブページに掲載され、中学生向けの学校説明会等の機会でもカレッジガイドを配付しながら直接説明を行うなど、将来の学生、社会及び本校構成員に対しての周知を積極的に行っている。専攻科課程でも、アドミッション・ポリシーを定め、募集要項、学生便覧及びウェブページに掲載している。また、教育目標が学生便覧、専攻科ガイド及び学校要覧に掲載され、本校の学生・保護者ならびに企業等に配付するなど、本校専攻科の教育目標に共感する学生の募集に努めている。

準学士課程及び編入学は入学試験委員会で、専攻科課程は専攻科委員会で、それぞれのアドミッション・ポリシーに沿った適切な入学者選抜を実施している。準学士課程の推薦による選抜では、科学の分野における優秀な成果についての口頭発表を評価に加える出願要件を設けており、多様な学生を受け入れている。また、実際に入学した学生の基礎学力について一斉テストを実施し検証している。

準学士課程の実入学者数は定員どおりとなっている。編入学の実入学者数は、教育に支障のない人数で適切になっている。専攻科課程の実入学者数は定員を超過しているが、施設・設備及び教育・研究指導において支障のない程度になっている。

